

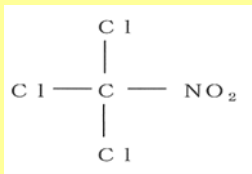
項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

# 1. 一般情報

## GENERAL INFOMATION

### 1.01 物質情報

#### SUBSTANCE INFOMATION

CAS番号	76-06-2
物質名(日本語名)	トリクロロニトロメタン
物質名(英名)	trichloronitromethane
別名等	クロロピクリン
国内適用法令の番号	化審法化学物質:(2)-199 PRTR政令番号:1-214
国内適用法令物質名	トリクロロニトロメタン(別名クロロピクリン)
OECD/HPV名称	Methane,trichloronitro-
分子式	CCL3NO2
構造式	
備考	<p>ア) 農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

### 1.02 安全性情報収集計画書／報告書作成者に関する情報

#### SPONSOR INFOMATION

機関名	農薬工業会
報告書作成日	2008.10.10
備考	

### 1.03 カテゴリー評価

#### DETAILS ON CHEMICAL CATEGORY

カテゴリー評価の正当性	
-------------	--

### 1.1 一般的な物質情報

#### GENERAL SUBSTANCE INFOMATION

物質のタイプ	有機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	無色・強い刺激臭のある液体
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体
純度(重量／重量%)	99.5%以上
出典	
備考	

### 1.4 別名

#### SYNONYMS

物質名-1	chloropicrin
物質名-2	
出典	
備考	

## 1.5 製造・輸入量

## QUANTITY

製造・輸入量	1000トン
報告年	平成17年
出典	優先情報収集対象物質リスト
備考	

## 1.6 用途情報

## USE PATTERN

主な用途情報	拡散適用途
工業的用途	農業
用途分類	38-270(くん蒸剤)
出典	
備考	

## 1.7 環境および人への暴露情報

## SOURCES OF EXPOSURE

暴露に関する情報	閉鎖系で製造され、容器への充填は換気設備のもとで行われる。使用者である農家は防護マスク、ゴーグル、不浸透性の手袋等を着用し土壌に注入処理する。処理後直ちにポリエチレンシート等で土壌表面を被覆し、気中への漏出を抑制する。農作物への残留はない。
出典	
備考	

## 1.8 追加情報

## ADDITIONAL INFORMATION

既存分類	GHS分類 ID42
職業暴露限界	日本産衛学会(2006):0.1ppm ACGIH(2006):TLV-TWA 0.1ppm
廃棄方法	廃掃法に従う
文献調査の範囲と日付	安全衛生情報センター GHS分類一覧表、製品安全データシート
出典	
備考	

## 2. 物理化学的性状

## PHYSICAL CHEMICAL DATA

## 2.1 融点

## MELTING POINT

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	-64℃相当の融点測定は実施不能のため、文献データを利用
GLP	
試験を行った年	
試験条件	
結果	
融点: °C	
分解: °C	
昇華: °C	
結論	-64℃
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	

引用文献	Emil Haase "Nerichte der Deutschem Chemischen Gesellschaft" 26号 1053頁 (1893年) 208.Emil Haase:Einige Schmelzpunktsbestimmungen. (Aus dem chemischen Laboratorium der Universitat Tübingen:mitgetheilt von Lothar Meyer).
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。

## 2.2 沸点

### BOILING POINT

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	OECD103 クロロピクリンの沸点測定(Siwoloboff法)
GLP	はい
試験を行った年	2000
試験条件	
結果	
沸点: °C	
圧力	
分解: °C	
結論	112.1°C
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。

## 2.4 蒸気圧

### VAPOUR PRESSURE

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	OECD104 クロロピクリンの蒸気圧測定(静的法)
GLP	はい
試験を行った年	2000
試験条件	
結果	
蒸気圧	
温度: °C	

分解: °C	
結論	$3.72 \times 10^3 \text{ Pa}$
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

## 2.5 分配係数(log Kow)

### PARTITION COEFFICIENT

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	OECD117 クロロピクリンの1-オクタノールと水との間の分配係数試験(HPLC法)
GLP	はい
試験を行った年	2000
試験条件	
結果	
Log Kow	
温度: °C	
結論	LogPow=2.6
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

## 2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

### WATER SOLUBILITY & DISSOCIATION CONSTANT

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	OECD105 クロロピクリンの水溶解度試験(フラスコ法)
GLP	はい
試験を行った年	2000
試験条件	
結果	
水溶解度	

温度: °C	
pH	
pH測定時の物質濃度	
結論	1.974g/L
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>
解離定数	
試験物質	trichloronitromethane
同一性	76-06-2
方法	OECD112 クロロピクリンの水中における解離定数の測定(分光光度法・滴定法・電気伝導度法)
温度: °C	
GLP	はい
試験条件	
試験を行った年	2000
結果	
結論	解離性なし
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

### 3. 環境運命と経路

#### ENVIRONMENTAL FATE AND PATHWAYS

##### 3.1 安定性

##### STABILITY

##### 3.1.1. 光分解

##### PHOTODEGRADATION

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	AOPWIN(version 1.91)
タイプ	間接光分解
GLP	
試験を行った年	2006年
光源と波長(nm)	

太陽光強度に基づいた相対強度	
物質のスペクトル	
試験条件	光照射時間:12時間/日
結果	
物質濃度	
温度(°C)	
直接光分解	
半減期t1/2	
分解度(%)と時間	
量子収率 (%)	
間接光分解	
増感剤(タイプ)	OHラジカル
増感剤濃度	$1.5 \times 10^6$ OH/cm <sup>3</sup>
速度定数	$0.130 \times 10^{-12}$ cm <sup>3</sup> /molecule-秒
半減期t1/2	t1/2=4日
分解生成物	
結論	t1/2=4日
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

### 3.1.2. 水中安定性(加水分解性)

#### STABILITY IN WATER

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	OECD111 (pHの関数としての加水分解) クロルピクリンの水中での加水分解性試験
GLP	いいえ
試験を行った年	1992
試験条件	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
所定時間後の分解度(%)、pH、温	
半減期	
分解生成物	
結論	pH5、pH7、pH9ともに半減期は1年以上
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。

### 3.3. 移動と分配

#### TRANSPORT AND DISTRIBUTION

#### 3.3.1 環境区分間の移動

#### TRANSPORT BETWEEN ENVIRONMENTAL COMPARTMENTS

試験物質名	trichloronitromethane
-------	-----------------------

CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	Fugacity model III
結果	
媒体	大気－水－土壌－底質
環境分布予測と媒体中濃度 (levelIII/III)	
結論	
注釈	EPIv3.12
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

### 3.3.2 分配

#### DISTRIBUTION

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
媒体	水－空気
方法	ヘンリー定数
試験条件	
結果	$1.86 \times 10^{-1} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
結論	$1.86 \times 10^{-1} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
注釈	HENRYWINv1.90
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

### 3.4 好気性生分解性

#### AEROBIC BIODEGRADATION

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	標準法
培養期間	
植種源	
GLP	
試験を行った年	
試験条件	試験装置: 揮発 試験期間: 4週間
試験物質濃度	100mg/L
汚泥濃度	30mg/L
培養温度 °C	
対照物質および濃度(mg/L)	
分解度測定方法	
分解度算出方法	
結果	
最終分解度(%) 日目	(%)(日目)
分解速度-1	
分解速度-2	
分解速度-3	
分解速度-4	
分解生成物	
上記結果以外の分解度測定方法 及びその結果	
対象物質の7, 14日目の分解度	
その他	

結論	易分解性 間接測定 BOD 0% 直接測定 TOC 0% GC 4%
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	既存化学物質安全性点検データ
出典	
引用文献	
備考	



項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

#### 4-1 魚への急性毒性

##### ACUTE TOXICITY TO FISH

試験物質	trichloronitromethane
同一性	76-06-2
方法	40農政B第2735号農林省農政局長通達「鯉に対する毒性試験方法について」 クロルピクリン原体のコイに対する急性毒性試験 クロルピクリンのアユ、ニジマスに対する毒性試験
GLP	いいえ
試験を行った年	コイ:1986、アユ、ニジマス:1992
魚種、系統、供給者	コイ:さがみ水産、アユ:群馬水試、ニジマス:群馬水試川場養魚分場
エンドポイント	
試験物質の分析の有無	
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	
試験用水量あたりの魚体重	
参照物質での感受性試験結果	
じゅん化条件	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	
試験方式	
換水率/換水頻度	
連数、1連当たりの魚数	
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
生物学的影響観察	
累積死亡率の表	
統計的結果	
注釈	
対照区における死亡率	
異常反応	
その他の観察結果	
結論	
結果(96h-LC50)	TLm(ppm) コイ:24hr,48hr,72hr,94hr=0.168 アユ:48hr=0.070 ニジマス:48hr=0.013
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	クロルピクリンは揮発性物質であり、ガイドラインに沿った試験実施不可能なため、現行制度の農薬登録申請において提出除外の扱いを受けている。

## 4-2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

## ACUTE TOXICITY TO AQUATIC INVERTEBRATES (DAPHNIA)

試験物質	trichloronitromethane
同一性	76-06-2
方法	ミジンコを用いる急性毒性試験暫定法 クロルピクリン原体のミジンコに対する急性毒性試験
GLP	いいえ
試験を行った年	1986
生物種、系統、供給者	三井東圧化学(株)飼育種
エンドポイント	
試験物質の分析の有無	
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験生物の起源、前処理、繁殖方	
参照物質での感受性試験結果	
試験開始時の時間齢	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	
試験方式	
連数、1連当たりの試験生物数	
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
遊泳阻害数	
累積遊泳阻害数の表	
注釈	
対照区における反応は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(48h-EC50)	ミジンコ: TLm1hr=>1.69, 3r=0.91 タマミジンコ: TLm1hr=>1.69, 3hr=0.91 セスジミジンコ: TLm1hr=>1.69, 3hr=0.83 オオミジンコ: TLm1hr=>1.69, 3hr=0.82
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	クロルピクリンは揮発性物質であり、ガイドラインに沿った試験実施不可能なため、現行制度の農薬登録申請において提出除外の扱いを受けている。

## 4-3 水生植物への毒性(例えば藻類)

## TOXICITY TO AQUATIC PLANTS e. g. ALGAE

試験物質	
同一性	
方法	
GLP	
試験を行った年	
生物種、系統、供給者	
エンドポイント	
毒性値算出に用いたデータの種類	
試験物質の分析の有無	

試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験施設での藻類継代培養方法	
藻類の前培養の方法及び状況	
参照物質での感受性試験結果	
希釈水源	
培地の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	
試験方式	
連数	
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
細胞密度	
生長阻害率(%)	
各濃度区における生長曲線	
その他観察結果	
注釈	
対照区での生長は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(ErC50)	
結果(NOEC)	
信頼性スコア	
キースタディ	
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	クロルピクリンは揮発性物質であり、ガイドラインに沿った試験実施不可能なため、現行制度の農薬登録申請において提出除外の扱いを受けている。

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

## 5-2 急性毒性

### ACUTE TOXICITY

#### A. 急性経口毒性

#### ACUTE ORAL TOXICITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 クロルピクリンのラットにおける急性経口毒性試験
GLP適合	はい
試験を行った年	1989
試験系(種／系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	強制経口投与
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	LD50 雌: 200mg/kg, 雄: 220mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

#### B. 急性吸入毒性

#### ACUTE INHALATION TOXICITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 Chloropicrin Acute Inhalation Toxicity in Rats 6-Hour Exposure
GLP適合	はい
試験を行った年	1987

試験系(種／系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	蒸気吸入
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	LC50 雌、雄:5.7ppm
雌雄のLD50値又はLC50値の違い	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

### C. 急性経皮毒性

#### ACUTE DERMAL TOXICITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	
GLP適合	
試験を行った年	
試験系(種／系統)	
性別(雄:M、雌:F)	
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	
雌雄のLD50値又はLC50値の違い	
注釈	

信頼性	
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献(元文献)	
備考	クロルピクリンは揮発性物質のため、一定時間一定濃度を維持する処理方法が無い ため、農薬登録上提出除外となっており試験成績は有りません。

# 5-5 反復投与毒性

## REPEATED DOSE TOXICITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 OECD453 マウスにおける13週間強制経口投与亜急性毒性試験
GLP適合	はい
試験を行った年	2001
試験系(種／系統)	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	強制経口投与
投与経路	
対照群に対する処理	
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	
投与頻度	
回復期間(日)	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
眼科学的所見(発生率、重篤度)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
注釈	
結論	
NOAEL (NOEL)	雄、雌:50mg/kg/day
LOAEL (LOEL)	
NOAEL/LOAELの推定根拠	
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	

備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。」  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。」  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a>  イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>
----	--

# 5-6 *in vitro* 遺伝毒性

## GENETIC TOXICITY IN VITRO

### A. 遺伝子突然変異

#### GENE MUTATION

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	L5178Y TK+/- MOUSE LYMPHOMA MUTAGENESIS ASSAY WITH CONFIRMATION
GLP適合	はい
試験を行った年	1990
細胞株又は検定菌	
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
変異原性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
遺伝子突然変異	陰性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。」  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。」  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a>  イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

### B. 染色体異常

#### CHROMOSOMAL ABBERATION

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 クロルピクリンの哺乳類培養細胞(チャイニーズ・ハムスター肺由来細胞株(CHL/IU))を用いる染色体異常試験
GLP適合	はい
試験を行った年	1989
細胞株	
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	

細胞毒性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
染色体異常	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
染色体異常	陽性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録は
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

# 5-9 生殖・発生毒性(受胎能と発生毒性を含む)

REPRODUCTIVE TOXICITY(Including Fertility and Development Toxicity)

## A. 受胎能

### FERTILITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 クロルピクリンのラットにおける強制経口投与による繁殖試験
試験のタイプ	
GLP適合	はい
試験を行った年	2000
試験系(種／系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	強制経口投与
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
妊娠率(妊娠個体数/交配数)	
交尾前期間(交配までの日数及び交配までの性周期回数)	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
妊娠指数(生存胎仔数/着床痕数)	
哺乳所見	
性周期変動	
精子所見	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	



剖検所見(発生率、重篤度)	
着床数	
黄体数	
未熟卵胞数	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
同腹仔数及び体重	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
離乳までの分娩後生存率	
新生仔所見(肉眼的な異常)	
生後発育及び発育率	
膣開口又は精巣下降(包皮分離)	
生殖器-肛門間距離などその他の観察事項	
臓器重量	
統計的結果	
注釈	
結論	
Pに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	無毒性量: 1.0mg/kg/day
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	無毒性量: 5.0mg/kg/day
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	無毒性量: 5.0mg/kg/day
注釈	繁殖能に対する影響なし
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

## B. 発生毒性

### DEVELOPMENTAL TOXICITY

試験物質名	trichloronitromethane
CAS番号	76-06-2
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	59農蚕第4200号 OECD414 クロルピクリンのウサギにおける催奇形性試験
GLP適合	はい
試験を行った年	1994
試験系(種／系統)	Rabbit
性別(雄:M、雌:F)	F
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
投与経路	強制経口投与
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
死亡数(率)、死亡時間	
用量あたり妊娠数	

流産数	
早期/後期吸収数	
着床数	
黄体数	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量(総子宮量への影響)	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
同腹仔数及び体重	
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
生後発育	
分娩後生存率	
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	
実際に投与された量	
用量反応性	
統計的結果	
注釈	
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	無毒性量: 10mg/kg/day
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	無毒性量: 10mg/kg/day
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
注釈	催奇形性なし
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される見込みである。</p>

6 参考文献(以下に欄を追加の上、一文献について一行にて一覧を記載)

文献番号(半角数字: 自動的に半角になる)	詳細(OECD方式での記入をお願いします。下の記入例参照。)	日本語の場合、以下の欄をお願いします。
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		